

令和8年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大宮八幡中学校】

学力向上 アクションマップ

①	今年度の目標と学力向上策
重点的に育成する 資質・能力	(1)情報を活用し、多面的・総合的に考える資質・能力。 (2)根拠を示し、論理的に自分の考えを伝える資質能力。
↓	
実施する学力向上策 【時期・頻度】	(1)ICT機器を活用し、考えたことを仲間と共有したり、一緒に考える活動を実施する。【各単元で1回以上】 (2)発表や自分の考えを伝えるときに、根拠を示し、論理的に考えを伝える活動を実施する【各単元1回以上】

⑤	年度末評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
		↓
今年度の成果と 次年度の課題		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

④	さいたま市学習状況調査結果の分析
特徴的な結果	
↓	
結果から考えられる 児童生徒の実態	①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト 等の分析・活用 ③中間評価を経ての取組 ④調査結果を活用した授業

②	全国学力・学習状況調査結果の分析
特徴的な結果	・「課題について、ICTを用いて情報を集めたり、整理すること」や、「自分の考えをまとめ、工夫して発表すること」、「各教科で学んだことを活かしながら自分の考えをまとめること」において、肯定的な回答が全国平均を大きく上回った。 ・考えを述べる際に、理由を示し答える問題において改善が見られている。 ・自分の考えを、複数の情報を統合し、論理的に述べる問題において課題が見られた。
結果から考えられる 児童生徒の実態	・多くの生徒が、ICT機器などを活用しながら、多面的に情報を収集し、教科横断的な視点で考えることができている。 ・表現の工夫など、自分の考えを論理的に伝えることに課題が見られる。

③	中間評価	
学力向上策の実施状況	評価(※)	・授業研修(公開授業等)で、重点項目の(1)および(2)について研究し、実践を行っている。 ・校内研修や研究推進委員会を毎月2回以上実施し、全教職員で「教科横断的な視点」で授業を研究、改善を図っている。
	B	
↓		
学力向上策の見直し	変更なし	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

教育研究所